

風はPLCから

H30.5 第1号



平成30年度の鹿児島大学教職大学院がスタートして1ヶ月が経ちました。4月は、全員が新しい環境に慣れることに一生懸命で、慌ただしく過ぎていったことと思います。大雨の中参加した入学式、不安いっぱい履修登録、頭をフル回転させる様々な講義、初めての有志の会に、親睦を深めた歓迎会など、まだわずか1ヶ月ですがとても濃〜い1ヶ月でした。今月からは実習科目も本格化し、ますます濃い大学院生活を送ることになりそうです。…とても楽しみですね。大変なことも多いと思いますが、みんなで協力してこれからの課題も解決していきましょう！

ではここで、平成30年度教職大学院学校教育実践高度化専攻1年生を紹介します！（敬称略・番号は出席番号）

①江口 靖子 教職23年目になり、「中堅」(それ以上?)としての役割を果たせるような知見を得られるよう学びつつ、「子供も教師も共に学び合える学校とは」について考えていきたいと思っています。だんだん瞬発力が衰えスローな私ですが、よろしくお願いします。	②梶 千明 教職大学院では、特に校内研修のデザイン・マネジメントと道徳科の探究を勉強したいと考えています。これまでの教職生活で課題に感じていたことを1つでも多く解決していけるように、主体的・対話的な学びを自ら実践していきたいです。
③刈川 陽介 今まで学んできたことに慣れてきて、教え方などマンネリ化し、独創性や新鮮さが失われています。院の仲間といろいろと議論したり、作成したりしながら、子どもや学校、地域に貢献できる力をここで身に付けたいです。よろしくお願いします。	④坂口 洋幸 私は、社会科における指導と評価の工夫や小中学校の系統性について学びたいと考えています。意欲的なみなさんから刺激をもらい、日頃は読めなかった本や文献にも目を通し、これまでの実践を振り返りたいと思います。
⑤新留 一穂 私は、教職大学院で教師の協働や学校研修の在り方について学習したいと考えています。授業についても校内研修などに関する授業を多く履修しており、現在基本的なところから学んでいます。授業を通して知識を深めていきたいです。	⑥新村 英昭 3つのつながりを頑張ります。1つ目は講義や文献を通して、これまでの「実践と理論のつながり」、2つ目は今回出会った教職大学院の先生方や学生との「人のつながり」、3つ目は騎射場のお店とのつながりを学んでいきたいと考えます。
⑦新屋敷 義介 大学院で自らが深い学びを実践し、学校現場で、児童・生徒が深い学びができるようにしていきたいので、限られた時間を有効に活用して、学んでいきたいです。	⑧園島 美香 学部で学べなかった部分を、講義や実習を通して学んでいきたいです。その中で分からないことがあったら、積極的に大学の先生方や現職学生の方に質問をすることを心掛けたいと思います。
⑨鶴長 隆盛 これまで教科指導の勉強しかしてこなかったため、毎日の授業が新鮮で初めて学ぶことばかりです。どの授業もおもしろくて入学してよかったです。教職生活もすでに折り返しなので、費用対効果が低いと言われないうががんばりたいです。	⑩寺内 愛 ストマス1年、鹿大教育学部社会専修卒の寺内愛です。離島・へき地教育に興味があるので、少人数指導や地域の特色をいかした教材作りなどを学んでいければと思います。2年後に自信をもって教壇に立てるように頑張っていきたいです！
⑪長野 圭佑 面白い授業とは何かについて探求していきたい。子どもが学校で学んでいて楽しいと実感できるような授業設計を追究していく。また、親身になって子どもに接することができるよう、内面の分野についても学んでいきたい。	⑫中村 友哉 教職大学院では、少人数教育や複式学級指導など鹿児島の教育課題に直結することを実習を通して学び、それをこれから先に活用していきたいと思っています。大変なことも多いとは思いますが、精一杯がんばります。
⑬奈良 憲佑 教職大学院で学びたいことは、いろいろありますが、学び方を学びたいと思います。日々の職務のために、教材研究や校内研修への取り組みが疎かになっていたり、マンネリ化してたりするので、これを機に学び方を変えていきたいです。	⑭東 一馬 教職大学院では、自身の教育における様々な課題を解決し、今後の教育活動をより発展させていきたい。その中でも、特に力をつけていきたいことはマネジメントできる力である。みんなが楽しいと思えるチーム学校を目指したい。
⑮福原 誠也 学校現場では得てして自分流(我流)で実践することが多くなっていった。で、今までの「自分」を見つめ直す機会になればと考えています。幅広い「視点」と「観(考え)」を持って、2年目以降、実践に役立てていければと思います。よろしくお願いします。	⑯松久保 陽史 今回、様々な立場の方々と一緒に机を並べて学べることをとても嬉しく思います。自分にできることを精一杯して、理想とする教師像に一步でも近付くことが目標です。楽しくいきましょう！